

平成 25 年 4 月 30 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

「MONEX個人投資家サーベイ 2013 年 4 月調査」 安倍政権はデフレ脱却期待を背景に高評価

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月より、マネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境に対する意識調査を月次で実施しております。

このたび、2013 年 4 月 19 日～22 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 1,380 件の回答結果を報告書にまとめました。マネックス証券チーフ・ストラテジスト広木 隆の総括と併せてご活用ください。

【調査結果要約】

(1) DI ^(注) はまちまちでいずれも小動きにとどまる

【日本株 DI】（2013 年 3 月）72 →（2013 年 4 月）69 （-3）
【米国株 DI】（2013 年 3 月）62 →（2013 年 4 月）40 （-22）
【中国株 DI】（2013 年 3 月）-19 →（2013 年 4 月）-46 （-27）

4 月の DI は 3 地域とも低下しました。なかでも米国株 DI と中国株 DI は 20 ポイントを超える大幅な低下となりました。特に中国株 DI は、調査の週初に発表された 1-3 月期実質 GDP 成長率が予想を下回ったことも影響したとみられ、-46 ポイントと調査開始以来の最低水準に迫りました。

（注）「上昇すると思う」と回答した割合（%）から「下落すると思う」と回答した割合（%）を引いたポイント。

(2) 業種別魅力度ランキングは「自動車」、「銀行」などが堅調

個人投資家が「魅力的であると思う業種」ランキングでは、首位となった「自動車」をはじめ、「銀行」（5 位→4 位）、「小売」（9 位→8 位）、「鉄鋼」（12 位→11 位）が前回調査時（2013 年 3 月）からそれぞれ一つずつ順位を上げ堅調でした。一方、今回 9 位の「機械」は 3 ヶ月連続、5 位の「商社」も 2 ヶ月続けて順位を落としました。

(3) 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しはほぼ変化なし

今後3ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しは前月からほぼ変化がありませんでした。円安を見込む向きは71%と引続き圧倒的多数を占めています。

(4) 安倍政権はデフレ脱却期待を背景に高評価

今回の調査では、4月上旬で安倍政権の誕生から100日が経過したことをうけ、同政権のこれまでにに対する評価をたずねる設問を追加しました。「高く評価する」と「どちらかといえば評価する」の合計は8割を超え、デフレ脱却期待及び円安・株高を背景に個人投資家から良好な評価を得ていることが確認されました。「評価する」とした理由では、「日銀との二人三脚で、長年続いたデフレからの脱却について、これまでの内閣にはない姿勢で取り組んでいる」ことや、「円安、株高」についての意見が挙げられました。

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社
営業企画部 PR担当 松崎 電話 03-6667-3551